

令和6年度

# 金ヶ崎町の教育

金ヶ崎町教育委員会



# 金ヶ崎町の教育

金ヶ崎町では、「生涯教育の町」を宣言して以来、「人間らしい生活のあり方」を文化ととらえ、その実現を生涯教育に求めて、行政と家庭・学校・地域社会の教育機能が一体となって生涯教育諸事業を推進してきました。

第十一次金ヶ崎町総合計画においては、政策分野「教育文化」での基本目標「未来へつながる豊かな心を育てるまち」を掲げています。また、この基本目標を実現するために、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする教育振興基本計画を策定しました。

教育振興基本計画では、「まちづくりは人づくり」「人と地域が支えあうまち金ヶ崎」の基本理念のもと、施策の基本的方向として次の4つの視点を設定し、その視点ごとに目標と施策を掲げています。

- 視点1 「学校・家庭・地域 連携による教育の推進」
- 視点2 「未来を担う次世代を育む学校教育の推進」
- 視点3 「生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進」
- 視点4 「歴史を伝え活かす人づくりの推進」

## 教育行政の基本方針

### （視点1） 学校・家庭・地域 連携による教育の推進

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

### （視点2） 未来を担う次世代を育む学校教育の推進

未来を担う子どもたちが社会情勢の変革や新しい生活様式に順応しながら「生きる力」を育むよう、幼稚園や学校における教育の内容や環境の充実を、家庭や地域とともに図ります。

### （視点3） 生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや文化芸術、読書に親しめる機会の創出を推進します。

### （視点4） 歴史を伝え活かす人づくりの推進

町内に存在する文化遺産の重要性の周知を行い町民の理解を深めるとともに、文化財の継承と活用を図ります。

# 教育行政体系

視 点	目 標	区 分（施策の方向）	
学校・家庭・地域 連携による教育の 推進	地域学校協働活動	1	学校と地域の連携
	地域による家庭支援	1	家庭教育の支援
	ふるさと教育（郷土 文化の継承）の推進	1	地域社会の学習
		2	地域活動への参加
未来を担う次世代 を育む学校教育の 推進	幼稚園教育の充実	1	教育内容の充実
	義務教育の充実	1	学校経営の充実
		2	教育内容の充実
	英語教育の推進	1	英語活動の充実
		2	英語教育の充実
	特別支援教育の推進	1	支援体制の充実
		2	学習環境の整備
	生涯を通じて学び、 学びを活かす人づ くりの推進	生涯教育環境の充実	1
2			生涯学習環境の充実
3			各世代の学習ニーズに応じた生涯教育の推進
社会教育の推進		1	未来を生き抜く力を育てる社会教育の推進
		2	地域社会の担い手の育成
		3	芸術文化環境の充実
		4	社会情勢に応じた学習機会の提供 （男女共同参画、地域づくり、国際交流）
読書活動の推進と資 料の活用		1	読書活動の推進
		2	エミリオ・ディキンソン資料の活用推進
スポーツの振興		1	生涯スポーツの推進
		2	競技スポーツの振興
		3	スポーツ環境の充実
歴史を伝え活かす 人づくりの推進		文化財の保存と活用	1
	2		国指定史跡の保存・管理・活用
	3		国選定重要伝統的建造物群保存地区の保存・整備
	4		金ヶ崎要害歴史館の活用推進
	5		先人顕彰の推進

# 教育委員会事務局管理運営計画

金ケ崎町教育振興計画及び第十一次金ケ崎町総合計画に基づき、教育委員会事務局の管理運営計画を次のとおり定める。

## 視点 1：学校・家庭・地域連携による教育の推進

### 《目指す姿》

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

目標指標	現状値	目標値 (R7)
コミュニティ・スクールによる活動（会議含む）	1 学校 年 2 回	1 学校 年 3 回
家庭教育支援に係る会議の回数	—	年 2 回
記念館等（千田正記念館、軍馬の郷六原資料館、金ケ崎要害歴史館）での見学学習（小中学校）	年 2 回	年 6 回 (各学校 1 回)
小中学生対象の地域での体験学習の開催	各学区 1 回	各学区 2 回

## 1 地域学校協働活動

国が推進する「地域学校協働」や岩手県「地域学校協働活動・教育振興運動」推進5か年プランに基づき、学校と地域がパートナーとなって子どもの成長を支える体制としてコミュニティ・スクールを推進し、子どもたちがいつでもどこでもだれとでも学習できる環境の整備を目指します。

### 《現状と課題》

地域の学習資源や人材を活用して「ふるさと金ケ崎」の学習活動が展開できるよう、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を設置し、学校と地域、行政が一体となった支援体制の充実を図りました。

地域の学習資源や人材発掘に苦慮することがあり、コミュニティ・スクールを通じた地域との連携が求められます。

# 教育委員会事務局管理運営計画

## 《令和6年度重点目標》

学校と地域がパートナーとなって子どもの成長を支える体制としてコミュニティ・スクールを推進し、いつでもどこでもだれとでも学習できる環境の整備を目指します。

## 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
コミュニティ・スクール事業	学校・家庭・地域が目標を共有し、連携・協働によって学校経営を行う。	学校毎	

## 2 地域による家庭支援

子育ての悩みや不安を抱えて孤立する家庭について、文部科学省の家庭教育支援推進事業に取り組み、家庭を取り巻く地域、学校、行政が連携しながら、悩みや不安の解消への体制整備を目指します。

### 《現状と課題》

教育委員会事務局に子育てに関する相談窓口として、家庭教育支援チームリーダーを配置し、年度当初や就学時健診会場などで周知しました。  
必要な人が必要なときに気軽に相談できるよう、本事業を継続周知する必要があります。

## 《令和6年度重点目標》

家庭を取り巻く地域、学校、行政が連携しながら、保護者の不安や悩みに寄り添い、地域全体で子どもを育む体制整備を目指します。

## 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
家庭教育支援チーム事業	保護者の子育てに対する不安や悩みの解消に向け、地域や学校、行政が連携して支援できるよう、家庭教育支援チームリーダーがコーディネーターとして取り組む。	保護者	

## 3 ふるさと教育（郷土文化の継承）の推進

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業と触れ合い、体験・体感する機会を充実させることによって、ふるさとの良さを発見し、ふ

## 教育委員会事務局管理運営計画

るさと金ヶ崎への誇りや親しみを醸成し、故郷に生きる意欲の向上を目指します。

### 《現状と課題》

社会科における地域学習に役立てるため、社会科副読本の改訂に取り組み、町内の歴史文化や自然等の資源、金ヶ崎町の行政のしくみを整理して、児童が様々な角度から学習する機会を作りました。

### 《令和6年度重点目標》

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業と触れ合い、体験・体感する機会を充実させます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
社会科副読本編集事業	地域学習において指導する事項の金ヶ崎町内版を作成し、活用する。	小学校3・4年生	

## 視点2：未来を担う次世代を育む学校教育の推進

### 《目指す姿》

未来を担う子どもたちが社会情勢の変革や新しい生活様式に順応しながら「生きる力」を育むよう、幼稚園や学校における教育の内容や環境の充実を、家庭や地域とともに図ります。

目標指標	現状値	目標値 (R7)
幼保連携事業（合同研修等）の実施	1回	2回
学習定着度状況調査県平均点数差	中2数以外は県平均点以上	県平均点以上
中学校卒業時英検3級相当者割合県平均比較	県平均以上	県平均以上
特別支援学級のうち特別支援教育に係る校内研修を実施した割合	83%	100%

# 教育委員会事務局管理運営計画

## 1 幼稚園教育の充実

就学前の幼児教育は、集団における遊びや活動を通して多様な経験を積み重ねることが出来る環境づくりを推進し、未来を担う子どもたちの生きる力を育み、健やかな成長を支援することを目指します。

幼児期の特性を踏まえ、家庭や地域とのつながりを大切にしながら、幼稚園の教員と幼児の信頼関係を十分築いた上、よりよい教育環境を創造するよう取り組みます。

### 《現状と課題》

昨今の幼児を取り巻く状況を踏まえ、たうえでの保護者のニーズに応えられるように、日常的な保護者との情報交換と保育や家庭教育のあり方についての情報提供、園内活動への地域の方々の参加や、園児の地域行事への参加、保育園や小学校との研究会や交流により、家庭・地域・保育園・小学校との連携に努めてきました。

### 《令和6年度重点目標》

幼稚園教育要領に示されている3つの資質・能力が育まれた具体的な姿である「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を留意しながら、遊びを通して総合的な指導を行い、生きる力を育む教育の実践に努めます。

保護者や地域住民の理解と協力のもと、町の環境や産業、芸術文化を活かした体験や学習を実践し、園児の実態に応じた特色ある教育内容の構築に努めます。

架け橋期（5歳児・小学校1年生の2年間）において育まれる資質能力や架け橋カリキュラムについて、幼保小合同による架け橋プログラム研修会を実施し、就学前教育と低学年の指導力向上を図り、学びの連続性を意識した切れ目ない指導に努めます。

また新入学児が小学校就学後にスムーズに学校生活に適応していけるよう、就学前の教育・保育施設から小学校への引継ぎ体制の改善に努めます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
幼保連携事業（合同研修会）	幼稚園・保育園合同研修会を開催し、共通の課題についての研修し、教育の資質向上を図る。	幼稚園、保育園、認定こども園	
架け橋プログラム事業	・架け橋プログラム研修会 ・幼児教育アドバイザーの配置	幼稚園、保育園、認定こども園、小学校	



# 教育委員会事務局管理運営計画

## 2 義務教育の充実

学校における義務教育では、子どもたちの「確かな学力・豊かな心・健やかな体」のバランスがとれた「生きる力」の育成を目指します。

また、子どもたちが社会情勢の変革や新しい生活様式に順応できるよう、学校教育環境の整備を推進します。

### 《現状と課題》

家庭や地域と協働する開かれた特色ある学校づくりを目指すため、学校運営協議会の設置や、目標達成型学校経営の取組を推進してきました。

また、児童生徒一人ひとりに「確かな学力」を保障するため、全国学力・学習状況調査をはじめとする諸調査を計画的に実施し、その結果を学力向上対策委員会や校長会議等で分析・検討を行い、きめ細かな学習指導の推進や各学校の実態に応じた指導体制を工夫して学力向上に努めてきました。

全ての児童生徒が安心して学校生活を送り、様々な活動に取り組むことができるよう、「学校いじめ防止基本方針」に基づく取り組みを行ってきました。

また、不登校などの悩みを抱える児童生徒を支援するため、適応支援相談員の配置や、県のスクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー派遣事業等の活用、教育相談や家庭訪問体制充実、関係機関との連携強化に努めてきました。

学校ICT教育の推進に向け、GIGAスクール構想により一人一台タブレット端末の整備や学校のWifi環境の充実など、ICT環境や教材の充実を図ってきました。

基本的な生活習慣・運動習慣の啓発、望ましい食習慣を身につけるため、県で推進する「60+（ロクマルプラス）プロジェクト」等を家庭と連携して取り組んできました。

人口減少や社会情勢の目まぐるしい変化の中で、適正な児童生徒数のもとでの義務教育の実践に向けて、保護者のニーズや地域の環境、学校施設長寿命化計画などを考慮しながら、幼稚園と同じく学校の再編を計画する必要があります。

### 《令和6年度重点目標》

各校の学力向上対策については、各校の学力向上推進委員会を中心として、各校における諸調査の結果分析を軸とした組織的かつ計画的な学力向上対策についての取組を推進し、教員個々の授業改善を通して、児童生徒の学力向上に努めます。

児童生徒が不登校になってからの事後的な取り組みだけでなく、児童生徒が不登校にならない魅力ある学校づくりをめざすとともに、各校の「いじめ防止対策基本方針」に基づいたいじめの未然防止に向けた指導と、いじめの早期発見と適切な対応に努めます。また「心とからだの健康観察」を活用する等、不登校などの悩みや不安を抱える児童生徒に必要な支援を行うとともに、今年度も継続して、適応支援相談員の配置や、県のスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー派遣事業等の活用、教育相談や家庭訪問体制充実、関係機関との連携し、支援体制の充実

## 教育委員会事務局管理運営計画

に努めます。

一人1台タブレット端末を活用した学校ICT活用教育をさらに充実させるため、電子黒板の導入など継続してICT環境の整備を行うとともに、ICT活用教育研修会を実施します。また、タブレットを活用した効果的な授業や家庭学習の充実を図ります。

健やかな体を育むための運動習慣・食習慣・生活習慣形成の一体的な取組を推進するため、今年度も「60+（ロクマルプラス）プロジェクト」に積極的に取り組むとともに、栄養教諭を中心とした食育授業、「町内産食材の日給食」等、家庭や地域と連携した食育の推進を継続します。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
コミュニティ・スクール事業	年2～3回学校運営協議会を開催	町内小中学校	
小中学校連携事業（授業訪問・研究指定等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・金ヶ崎小学校学校公開</li> <li>・永岡小学校学校公開</li> <li>・西小学校授業訪問</li> </ul>	町内小中学校	
学力向上対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回学力向上対策委員会</li> <li>・「確かな学力育成プラン」を軸とした各校の学力向上対策の取り組み</li> </ul>	町内小中学校	
いじめ・不登校問題対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いじめ防止対策基本方針」に基づく各校取組</li> <li>・「いじめ問題対策連絡協議会」の実施</li> <li>・教育支援センターの設置</li> <li>・適応支援相談員配置事業</li> <li>・「心とからだの健康観察」</li> <li>・SC・SSW県派遣事業</li> </ul>	町内小中学校	
プログラミング・学校ICT教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT活用教育研修会</li> <li>・GIGAスクール運営支援センター事業</li> </ul>	町内小中学校	
食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内産食材の日給食</li> <li>・栄養教諭による食育授業</li> </ul>	町内小中学校 学校給食センター	

# 教育委員会事務局管理運営計画

## 3 英語教育の推進

「英語教育の町金ケ崎」の推進に向けて、グローバルな視野と感覚を有するコミュニケーション能力の育成を目指す教育を充実させます。

### 《現状と課題》

グローバル化や情報化が進展し、児童生徒がこれからの国際社会を担ううえでの基盤づくりができるよう、各校の英語教育推進委員と英語指導員・E L Tを中心として、指導体制の充実と教育内容の改善に努め、英語活動・英語教育を推進し、幼保小中と連続して言語活動を通じた指導が行われてきました。

諸調査からも英語学習への意欲も高く、中学校卒業時には、英検3級程度の実力を身に着けている子どもが増加しています。

より多くの子どもたちに確実な英語力を身につけさせるために、幼保小中が交流授業を継続して実施し、さらに授業改善を推進することが必要です。

### 《令和6年度重点目標》

幼稚園・保育園では、E L Tの派遣を行い、英語の歌や絵本の読み聞かせ等を通じて、遊びや生活の中で英語との触れ合いを楽しむ子どもの育成に努めます。

小学校では、学級担任と英語指導員・E L Tが連携し、言語活動を通して、それぞれの強みを生かした授業を行うことで、英語でコミュニケーションを楽しむ子どもの育成に努めます。

中学校では、小学校での外国語学習状況を確実に把握し、英語指導員・E L Tと連携し、言語活動を通して、4技能をバランスよく身につけ、積極的にコミュニケーションを図る子どもの育成に努めます。

小学6年生同士の交流授業、小学6年生と中学1年生の小中間の交流授業を行い、中学校での英語学習への意欲を高めます。

推進委員を中心とした授業研究会を実施し、指導改善に努めます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
「英語教育の町金ケ崎」推進委員会	・年2回推進委員会 (管内「小中つなぐ外国語教育推進研修」含む) ・交流授業や授業研究会 ・英語活動マニュアルの作成	各校推進委員 小・中学校教員	
幼稚園、保育園、小中学校への英語指導員・E L T派遣	・町内幼稚園・保育園・小中学校へ英語指導員・E L Tを派遣	幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校	
町教育委員会主催英	・English DOJO	中学3年生	

## 教育委員会事務局管理運営計画

語事業	・グローバルキャラバン	小学3～6年生	
中学校英語教育事業	・英語講師1名継続配置 ・英語検定料の補助	金ヶ崎中学校 中学生	

### 4 特別支援教育の充実

全ての子どもが個性の発揮や可能性の拡大に繋がる環境の整備を目指します。そのために必要な教職員の専門性のスキルアップに取り組みます。

#### 《現状と課題》

障がいのある子ども、特別な支援を必要とする子ども等への適切なきめ細かい支援を行うため、幼稚園及び小中学校の必要に応じて保育補助員、特別支援員等を配置して、支援体制の充実に努めました。

また、幼稚園・保育園と小学校、小学校と中学校がお互い訪問し合い、情報共有しスムーズな引継ぎに努めました。

特別な支援を必要とする児童生徒が増加・多様化する現状にあり、様々な支援の取り組みがなされていることから、教職員等のスキルアップや支援員配置の継続が必要です。

#### 《令和6年度重点目標》

全ての子どもが個性の発揮や可能性の拡大に繋がる特別支援教育の充実を目指し、教職員に求められる専門性のスキルアップに取り組みます。

また、幼稚園、保育園から小学校、小学校から中学校への引継ぎ体制の改善に努めます。

#### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
就学支援委員会	・年3回特別支援教育に係る就学支援委員会	各校就学支援委員	
園・学校への巡回訪問	・児童生徒相談員による定期訪問 ・専門家による小学校就学のための巡回訪問	幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校	
幼保小中引継ぎ事業	就学前の教育・保育施設から小学校へ、小学校から中学校への引継ぎ体制の改善を図る。	幼稚園、保育園、認定こども園、小学校、中学校	支援を要する園児とその保護者
特別支援教育コー	・特別支援教育中核コーディネ	各校特別支	

## 教育委員会事務局管理運営計画

事業名	内容	対象	関係者
ディネーター事業	ーターを配置 ・特別支援教育コーディネーターを配置 ・特別支援教育コーディネーター研修会	援教育コー ディネーター	
特別支援員配置事業	・各校への特別支援員の配置 ・特別支援員研修会	各校特別支援員	

## 主要事業・会議等一覧

### < 会議 >

#### ○町校長・園長会議（校長、園長）

4月10日（水）：町の教育行政方針、教育関係事業等の説明

#### ○町小・中教務主任会議（小・中学校教務主任）

2月18日（火）午後：次年度の小中学校の教育課程編成に係る情報提供、行事の調整

#### ○町幼稚園主任教諭・教務担当者会議（幼稚園の主任教諭、教務担当者）

2月25日（月）午後：次年度の幼稚園の教育課程編成に係る情報提供、行事の調整

#### ○町就学支援委員会（各園長、各校長、就学支援担当者等）

第1回 9月25日（水）午後：特別な支援が必要な児童生徒の適切な就学（在校生）

第2回 11月1日（金）午後：特別な支援が必要な児童生徒の適切な就学（新入生）

第3回 1月22日（水）午後：特別な支援が必要な児童生徒の適切な就学（保留案件）

#### ○いじめ問題等対策連絡協議会

6月25日（火）：町のいじめ問題等についての関係機関からの参加者との協議

### < 推進委員会・運営委員会 >

#### ○学力向上対策委員会（委員長・各校学力向上担当者）2回とする

第1回 4月22日（月）：今年度の各校の学力向上対策、諸検査等について

第2回 2月18日（火）：今年度の取組総括と次年度の重点

#### ○英語教育の町金ヶ崎推進委員会（委員長・副委員長・各園、各校の英語教育推進委員）2回とする

第1回 4月30日（火）：相互参観を中心とした連携事業の計画等

第2回 2月12日（水）：英語教育推進の振り返り カリキュラム素案の確認

#### ○町通学バス運営委員会（該当校長）

第1回 9月27日（金）：冬期間の通学バス利用者の決定

第2回 2月28日（金）：次年度の通学バス利用者の決定

### < 研修会 >

#### ○特別支援教育コーディネーター研修会（各園・各校の特支コーディネーター 悉皆）

4月11日（木）：小中学校 特別支援教育に係る校内体制の充実と就学支援について

5月9日（木）：幼稚園（保育園、就学担当者も含む）

特別支援教育に係る校内体制の充実と就学支援について

○特別支援員研修会（特別支援員 悉皆）

5月 1日（水）：特別支援員の適切な支援の在り方について

○幼稚園・保育園合同研修会（町内の幼稚園長、幼稚園教諭、保育士の希望者）

第1回 5月 9日（木） 特別支援教育について

○架け橋プログラム研修会

第1回 6月26日（水） 第一小生活科研究授業・架け橋カリキュラムについて

第2回 10月24日（木） 南方幼稚園園内研・架け橋カリキュラムについて

第3回 1月14日（火） 架け橋カリキュラムについて

○ICT活用教育研修会 5月28日（火）：金ヶ崎中授業研究会・GIGA 端末活用について

### < その他 教育委員会主催事業 >

○町指定小・中学校 学校公開研究会（金ヶ崎小学校学校公開研究会） 10月 9日（水）

町指定小・中学校 学校公開研究会（永岡小学校学校公開研究会） 11月11日（月）

○授業訪問（西小学校） 11月28日（木）

○Let's go to school day 各校・園で開催日一日参観日を設定

○グローバル・キャラバン

7月29日（月）：小学校3・4年生対象。英語で様々な活動を行う

30日（火）：小学高5・6年生対象。英語で様々な活動を行う。

○English DOJO

9月28日（土）：中学3年生対象。英語で行う受験対策の学習

### < その他 他団体主催事業 >

○小体連事業： 町小学校陸上記録会 9月19日（木）（予備日9月20日（金））

○小文連事業： 町内音楽会 10月23日（水）

○小中連絡協議会事業 小中授業参観情報交換会（中1授業） 6月

小6中学校見学会 11月

町内小6交流会 11月

# 金ヶ崎町立小中学校 学校公開研究指定要項

## 1. 趣 旨

金ヶ崎町における学校教育課題の解決を図り、教育水準の向上を期するため、学校公開研究指定校を設定し、校内研究の活性化と児童生徒の学力向上・心身の健全育成を図るとともに、その成果を町内で共有することを目的とする。

## 2. 名 称

金ヶ崎町立小中学校 学校公開研究指定校

## 3. 基本方針

- (1) 先進的な理論開発ではなく、日々の授業改善を軸とした実践的な研究を行う。
- (2) 校内研究の活性化を図り、取り組み過程を大切にした組織的な研究推進を行う。
- (3) 全教職員が主体的に研究に取り組むことにより、授業力・指導力の向上に資する。
- (4) 教育委員会との連携を密にし、指導主事による助言、情報提供を受けながら研究を進める。

## 4. 研究指定について

- (1) 学校公開研究指定校は、別紙「研究指定校・園一覧表」による。
- (2) 指定期間は3カ年とし、継続研究とする。
- (3) 指定を受けた学校は、下記により研計画書、報告書を作成し、教育委員会に提出する。

指定1年目	研究計画書	(様式1)	7月 末日まで
	研究中間報告書A	(様式2)	3月15日まで
指定2年目	研究中間報告書B	(様式3)	3月15日まで
指定3年目	最終報告書	(様式4)	3月15日まで
- (4) 研究指定最終年度に学校公開研究会を設定し、その研究の成果を町内で共有する。

## 5. 研究主題・内容について

- (1) 研究主題については、各校における問題意識や課題を明確にした上で、学校教育目標の具現化につながるものとなるよう設定する。
- (2) 研究内容については、各校の「学びフェスト」や諸調査の結果分析との関連性も考慮し、具体的な方向性を全教職員が共有できるものとする。例えば
  - ・児童生徒の学力向上対策についての研究
  - ・教科学習指導の実践的研究
  - ・道徳・特別活動・総合的な学習に関する研究
  - ・生徒指導・進路指導の実践的研究
  - ・QU\*の活用等、学年学級経営に関する研究
  - ・OJT、アクションリサーチ等人材育成にも焦点を当てた研究

\*QU：楽しい学校生活を送るためのアンケートのこと。QUESTIONNAIRE－UTILITIESの略。学級集団の状態や子ども一人一人の意欲、満足感等を測定できるとされる。



## 6. 研究補助

研究指定校の研究助成のため、指導者の派遣及び補助金の交付を行う。補助金の額は学校予算を勘案して決定し、学校公開研究会を開催する年度に交付する。

※ 様式1・2・3・4（A4横書き） 原則として様式を示すが、必要な内容が十分に網羅されていれば、校内研資料等、作成済みのものを転用しても構わない。

### 様式1（研究計画書）

<b>令和 年度～令和 年度 金ヶ崎町立小中学校 学校公開指定校研究計画書</b>			
1	学校名	校長名	研究主任
2	研究主題		
3	研究のねらい（主題設定の理由、研究のゴール等）		
4	研究内容（特に研究の中心にすえる事項等）		
5	研究計画（3年間を見通したものと1年次の具体）		

### 様式2（中間報告書A）

<b>令和 年度 金ヶ崎町立小中学校 学校公開研究指定校 1年次中間報告書</b>			
1	学校名	校長名	研究主任
2	研究主題		
3	研究のねらい（主題設定の理由、研究のゴール等）		
4	指定1年次の成果と課題		
5	今後の研究計画（研究の方向性、修正含む）		

### 様式3（中間報告書B）

<b>令和 年度 金ヶ崎町立小中学校 学校公開研究指定校 2年次中間報告書</b>			
1	学校名	校長名	研究主任
2	研究主題		
3	研究のねらい（主題設定の理由、研究のゴール等）		
4	指定2年次の成果と課題		
5	今後の研究計画（研究の方向性、修正含む）		

### 様式4（最終報告書）

<b>令和 年度 金ヶ崎町立小中学校 学校公開研究指定校 最終報告書</b>			
1	学校名	校長名	研究主任
2	研究主題		
3	研究のねらい（主題設定の理由、研究のゴール等）		
4	研究の成果について		
5	今後の課題と校内研究推進の方向性		

# 学校公開指定校一覧表

◎公開研究会 ○研究指定初年 ※授業訪問

学校名	年度	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	<small>平成</small>							<small>令和</small>			
金ヶ崎小学校			※	変更	○	△	◎		※	○	
第一小学校		◎			※	○		◎			※
永岡小学校				※	○		◎			※	○
三ヶ尻小学校		※	○		◎			※	○		◎
西小学校		○		◎			※	○		◎	
金ヶ崎中学校			◎			※	○		◎		

・ 町立幼稚園の研究指定については、平成 30 年度から当面凍結としています。

・ 金ヶ崎小学校は令和 3 年度に公開研究会の予定を変更。

研究指定初年を令和 4 年度とし、令和 6 年度は「岩手県小学校教育研究会外国語部会研修会（外国語活動・外国語科授業公開）」と「学校公開」を実施。

## 中央生涯教育センター管理運営計画

金ケ崎町教育振興計画及び第十一次金ケ崎町総合計画に基づき、中央生涯教育センターの管理運営計画を次のとおり定める。

### 《センター運営方針》

「学校・家庭・地域連携による教育」を進めるため、様々な主体による対話の場づくりと連携による人づくりを進めます。

### 視点1：学校・家庭・地域連携による教育の推進

#### 《目指す姿》

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
コミュニティ・スクールによる活動（会議含む）	1学校 年2回	1学校 年3回
小中学生対象の地域での体験学習の開催	各学区 1回	各学区 2回

#### 1 地域による家庭支援

地域における「目指す子ども像」を示し、家庭、地域、学校、行政の役割を明確にし、対応困難な部分をそれぞれで補完するなど、地域全体で子どもを育む取り組みを推進します。

##### 《現状と課題》

令和4年度に小学生の保護者を対象に実施したアンケートでは子どもに様々な体験をさせたいというニーズがある一方で、「行政や民間の事業が無いと体験させられない」、「行動を制限してしまい自由に体験させられていない」等の意見が多くあります。

家庭教育が子どもの人格形成に影響を与えることから、生活習慣の確立や日常的な体験活動の重要性を保護者や地域が学ぶ機会が必要です。

また、子ども達の体験活動や地域活動情報を周知する環境整備が必要です。

##### 《令和6年度重点目標》

家庭内で保護者が子どもに生活習慣の確立や様々な体験の機会が確保できるよう、保護者を対象とした講座を開催します。

## 中央生涯教育センター管理運営計画

また、保護者だけでなく地域全体で子どもを育むため地域住民等の理解の醸成に繋がる事業の検討を進めます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
放課後子ども教室	主に小学生の放課後の居場所づくりと、体験教室などを開催する。	小学生	
家庭教育支援事業	子どもの生活習慣の確立や社会体験など、保護者に対する学習機会を提供する。	保護者	学校 子ども会育成会

## 2 ふるさと教育（郷土文化の継承）の推進

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業と触れ合い、体験・体感する機会を充実させることによって、ふるさとの良さを発見し、ふるさと金ヶ崎への誇りや親しみを醸成し、故郷に生きる意欲の向上を目指します。

### 《現状と課題》

郷土文化を子ども達に伝えてきた方の高齢化や、子どもの習い事の多様化等を背景に子ども達に郷土文化を伝える機会が失われつつあります。

### 《令和6年度重点目標》

主に中高生を対象に郷土文化を知る機会と継承するための課題解決について考える機会をつくります。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
まちあるき学習	中学校が実施するまち歩き学習を支援する。	中学生	地域住民
地区生涯教育センター支援	郷土文化を地域住民が学ぶ機会を創出する。	地区生涯教育センター	

## 視点3：生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

### 《目指す姿》

町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや文化芸術、読書に親しめる機会の創出を推進します。

## 中央生涯教育センター管理運営計画

目標指標	現状値	目標値（R7）
中央生涯教育センターの利用者	18,994人	現状維持
講座等の開催数	81回	現状維持
町内体育施設の年間利用者数	140,562人	140,600人
成人の週1回以上のスポーツ実施率	65.7%	67.0%

### 1 生涯教育環境の充実

町民が必要な学びのため、主体的に学習活動を行い、その学びから得た成果を生活や地域に活かすことが出来るよう、町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯教育推進体制の整備や、多様な価値観を育むための学習機会の創出と支援に取り組みます。

#### 《現状と課題》

成人教育を中心に各種講座を開催してきましたが、民間や個人の学習サービスの充実などにより、新たな層の利用に繋がっていません。  
また、町民の学習実態の把握ができていない事も課題となっています。

#### 《令和6年度重点目標》

住民の学習ニーズを把握し、今後の生涯教育のあり方について検討します。  
また、施設や設備の修繕を適切に行い、利用者の満足度の向上につなげます。

#### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
生涯教育審議会・社会教育委員会議の開催	生涯教育の方向性の検討や事業の評価等を外部委員の意見等を踏まえて実施する。	委員	
中央センター大ホール空調・照明設備改修工事	大ホールの空調設備及び照明設備のLED化改修工事を行う。	—	—
北部地区センター長寿命化改修工事	外壁、給水設備、冷暖房設備等の改修工事を行う。	—	—
街・三ヶ尻地区体育館LED化改修工事	街・三ヶ尻地区体育館の照明設備のLED化改修工事を行う。	—	—
広報かねがさき等による情報発信	中央・地区生涯教育センターが開催する講座情報等を周知する。	全町民	

# 中央生涯教育センター管理運営計画

## 2 社会教育の推進

地域における将来像や課題を話し合う機会を設け、地域課題を解決するため学習の場の提供と人材の育成を目指します。

### 《現状と課題》

人口減少や災害の激甚化等、暮らしに対する様々な不安が拡大している中で、不安を解消するための講座などを実施し、これまで参加が少なかった年代の参加も増えています。

今後も、様々な視点から暮らしを豊かにするための学習機会を提供していくため、職員による地域課題や学習ニーズの把握や事業の参加者を増やしていくための工夫が求められます。

### 《令和6年度重点目標》

社会課題や地域課題の解決のための学習をより多くの町民が参加できるよう、学習方法に工夫するとともに、参加者が学んだことを活動に生かせるような支援を進めます。

また、地域人材を講師とする講座の開催や、日常生活の中で芸術文化に触れることが出来るような事業を検討します。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
町民大学	テーマを設定し、年間を通じた学習機会を提供する。	全町民	
芸術文化協会への支援	町民の芸術文化活動を確保するための支援を行う。	町芸術文化協会	

## 3 スポーツの振興

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であり、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる「いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツに親しめるまち金ケ崎」の実現を目指します。

### 《現状と課題》

住民のライフスタイルや運動種目の多様化により、スポーツに参画する住民のニーズが変化しており、そのニーズに応じた新たな形への転換が課題です。

### 《令和6年度重点目標》

性別や年齢を問わず、子どもから高齢者まで誰もが気軽にスポーツに触れ合い、親しむことができるようニーズ把握を行いながら、町内スポーツ関係団体と連携しスポーツ事業を継続的に実施していきます。

## 中央生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
金ヶ崎マラソン大会	様々な世代が参加できるマラソン大会を実施する。	全町民	町内スポーツ関係団体、企業等
かねがさきスポーツフェスティバル	様々な世代が参加できる体験型スポーツイベントを実施する。	全町民	町内スポーツ関係団体、企業、プロスポーツ
町民スポーツ大会	従来地域対抗戦から参加しやすい形へ変更し開催する。	全町民	町内スポーツ関係団体
森山総合公園環境整備	長寿命化計画に基づき公園内の陸上競技場改修工事を実施する。	全町民	町生涯スポーツ事業団

### 視点4：歴史を伝え活かす人づくりの推進

#### 《目指す姿》

町内に存在する文化遺産の重要性と周知を行い町民の理解を深めるとともに、文化財の継承と活用を図ります。

目標指標	現状値	目標値（R7）
指定・登録文化財数 （無形文化財を含む）	53件	維持 ※増減を含む
文化財施設の来館者数	15,736人	16,500人
企画展、学習会等の学習	7回	10回

#### 1 文化財の保存と活用

- 町民の財産である文化財を保護するために、文化財の重要性と法律の周知を行い、町民の理解を深めます。
- 地域住民が地域に愛着や誇りを持つため、文化財の利活用を進めるとともに、町内外に発信します。
- 先人の顕彰を行い、偉業を伝える文化財（記録、建物）の重要性の再認識を町内外への発信をするとともに、無形民俗文化財の披露機会や活動情報の発信を増

## 中央生涯教育センター管理運営計画

やし、町全体や各地域の中での魅力向上を目指します。

### 《現状と課題》

若年層を中心とした文化財への関心の希薄化及び世代交代等による所有者等の保存に対する理解の希薄化をより一層解消していく事が課題です。

また建造物を主とした文化財の劣化が顕在化してきていることから各種計画を見直し保存修理の計画的な実施を考えていく必要があります。

### 《令和6年度重点目標》

指定・登録文化財の現状把握と候補文化財の掘り起こしに努めます。

また、文化財関連事業の全体を整理し、各事業（整備）計画の再検討を行うとともに、文化庁が推進している文化財保存活用計画の策定を視野に町内文化財の整理作業に取り組みます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
文化財の活用、整理	町内文化財の活用を図る。 収蔵品の整理を行う。	全町民	文化財調査委員
鳥海柵跡の保存、管理及び活用	鳥海柵跡の学習会の開催し 史跡の理解を深める。 環境整備を実施し、史跡の保存に努める。	全町民	国史跡鳥海柵跡と 安倍氏の関連文化 財保存協議会
伝建地区の保存	住民の理解と協力を得て保存事業を進める。 土合丁・旧大沼家侍住宅の修繕工事を行う。	城内、諏訪 小路地区住 民	城内町並み保存 会、金ヶ崎まちづ くり研究会
郷土芸能発表大会	発表大会を開催する。	全町民	町郷土芸能保存会



# 金ヶ崎町立図書館管理運営計画

金ヶ崎町教育振興計画及び第十一次金ヶ崎町総合計画、加えて、金ヶ崎町こども読書活動推進計画に基づき、金ヶ崎町立図書館の管理運営計画を次のとおり定める。

## 《図書館運営方針》

乳幼児から高齢の方まで、読書に親しんでもらえるようニーズに対応した図書等の整備を図り、図書館をはじめ、地域文庫や移動図書館車による本の貸出事業を行います。併せて、図書館が学習や読書の間としても多く活用されるよう快適な環境づくりに取り組みます。

## 視点3：生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

### 《目指す姿》

図書資料や町民の活動の記録等を適切に収集管理し、乳幼児から高齢者までの多様な町民の知的好奇心を刺激する読書環境を整えます。

目標指標	現状値	目標値 (R7)
町民1人当たり貸出冊数	6.1冊	6.5冊

## 3 読書活動の推進と資料の活用

町民の読書への関心を高め、読みたい本に出あえるための読書環境づくりを推進します。

### 《現状と課題》

インターネット等各種メディアの多様化や生活環境の変化等を背景に子どもの読書離れが指摘されていることから、各主体と連携を図りながら本に触れる環境づくりに取り組んでいく必要があります。

図書館施設の修繕等を計画的に行いながら、安全で長期的な施設の維持管理が必要です。

### 《令和6年度重点目標》

- ・乳幼児から高齢の方まで、読書に親しんでもらえるようニーズに対応した図書等の選書に努めます。
- ・令和5年度に策定した「第5期金ヶ崎町こども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動を推進します。
- ・図書館施設の安全で長期的な維持管理に向けて、修繕等を適正に進めます。

## 金ヶ崎町立図書館管理運営計画

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
読書普及推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企画展開催</li> <li>・地域文庫・移動図書館車事業</li> <li>・学校図書館支援業務</li> <li>・職員スキルアップ研修会開催</li> </ul>	全町民	—
子ども読書活動推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもおはなし会開催</li> <li>・乳幼児健診時での絵本の紹介等の実施に向けた検討</li> <li>・ブックスタート趣旨普及の取組の検討</li> </ul>	—	子育て支援課 住民課
図書館施設維持管理事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LED化工事実施設計業務</li> <li>・駐車場区画線修繕ほか2件</li> </ul>	—	—

## エミリオ・ディキンソン資料センター管理運営計画

町民に詩人エミリオ・ディキンソンの資料に触れる機会を提供することで、国際理解への関心を促します。

### 《エミリオ・ディキンソン資料センター運営方針》

本や詩の展示を通して「アメリカ文学史上最高の女性詩人と評されているエミリオ・ディキンソンの業績と詩の世界に触れる機会」を提供します。

### 《目指す姿》

姉妹都市をはじめとする様々な国や、多様な文化に対する国際理解が深まる環境整備を図ります。

目標指標	現状値	目標値 (R7)
エミリオ・ディキンソン企画展来館者数	5,093人	8,000人

### 《現状と課題》

エミリオ・ディキンソンに関する研究及び資料収集は一定の成果に達したことから、今後のセンターの役割について、長期的な検討課題となっています。

### 《令和6年度重点目標》

本や詩の展示を通してエミリオの世界に触れる機会を提供します。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
趣旨普及事業	・エミリオ・ディキンソンコーナーの設置 ・資料センター便りによる詩の紹介 ・企画展開催 ・ホームページによる情報発信	全町民	—
図書資料整備事業	・図書資料等の適正な保存管理 ・日本エミリオ・ディキンソン学会との連携	—	日本エミリオ・ディキンソン学会

## 街地区生涯教育センター管理運営計画

金ケ崎町教育振興計画及び第十一次金ケ崎町総合計画に基づき、街地区生涯教育センターの管理運営計画を次のとおり定める。

### 《センター運営方針》

「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや芸術文化、読書に親しめる機会を創出します。

また、生涯教育推進体制の整備・公民館機能の充実に努めるとともに、話し合いの場を設け、地域が抱える問題・課題を掘り起こし、解決するための取り組みを推進します。

### 視点1：学校・家庭・地域連携による教育の推進

#### 《目指す姿》

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
コミュニティ・スクールによる活動（会議含む）	1学校 年2回	1学校 年3回
小中学生対象の地域での体験学習の開催	各学区 1回	各学区 2回

#### 1 地域による家庭支援

地域における「目指す子ども像」を示し、家庭、地域、学校、行政の役割を明確にし、対応困難な部分をそれぞれで補完するなど、地域全体で子どもを育む取り組みを推進します。

##### 《現状と課題》

金ケ崎小学校区は街地区と南方地区とに分かれており、事業が組みにくい状況の中ですが、令和5年度は南方生涯教育センターと共催で、開催場所を中央生涯教育センターとし、事業を実施しました。

また、子どもの習い事の多様化のため、高学年の参加が少ないことが課題です。地域社会において子どもが育つ状況が変化しているため、変化に対応した事業の検討が必要とされています。

## 街地区生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度重点目標》

地域や子ども会育成会との話し合いのうえ、課題等を地域の団体等と共有し、地域全体で子どもたちを育てていく意識を醸成します。

また、子どもたちが自然体験事業に参加することで地域との交流の機会を作ります。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
こども明興塾	自然体験宿泊学習	小学生	県南青少年の家
花いっぱい運動	花壇への花の植え付け	園児・児童等	地区内教育施設
あり方検討会	話し合い	地区民	各種団体

## 2 ふるさと教育（郷土文化の継承）の推進

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業と触れ合い、体験・体感する機会を充実させることによって、ふるさとの良さを発見し、ふるさと金ヶ崎への誇りや親しみを醸成し、故郷に生きる意欲の向上を目指します。

### 《現状と課題》

少子高齢化が進んでいる地域と高齢化の進展と子ども、若い人たちが混在している地域との二極化が生まれています。

子どもが習い事等で忙しく、地域との接点を持つ機会が失われつつあります。

### 《令和6年度重点目標》

地域に残る伝統文化やまつりを体験することで次世代に伝えていく気運を醸成します。

また、郷土文化を知る機会と継承するための課題解決について考える機会をつくります。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
みずき団子飾り	みずき飾りつけ	小学生	地区民
まちあるき学習	まちあるき学習の支援	中学生	地区民
火防祭	稚児行列支援	園児、小学生	地区民

## 視点3：生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

### 《目指す姿》

町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや文化芸術、読書に親しめる機会の創出を

# 街地区生涯教育センター管理運営計画

推進します。

目標指標	現状値	目標値 (R7)
街地区生涯教育センターの利用者	32,254 人	現状維持
講座等の開催数	20 回	現状維持
街地区体育施設の年間利用者数	17,111 人	17,200 人

## 1 生涯教育環境の充実

町民が必要な学びのため、主体的に学習活動を行い、その学びから得た成果を生活や地域に活かすことが出来るよう、町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯教育推進体制の整備や、多様な価値観を育むための学習機会の創出と支援に取り組みます。

《現状と課題》

地域課題などに対応した講座を実施し、参加者の交流や学習活動に結び付けたいが、各世代のライフスタイルが大幅に変化していることで、町民の学習ニーズを把握できていないことが課題となっています。

《令和6年度重点目標》

各世代のライフスタイルの変化に伴う町民の多様な学習ニーズに応じた事業を展開するため、参加者との対話を重ね、学習活動の支援に努めます。

《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
あり方検討会 (再掲)	各種団体との話し合い	地区民	各種団体・中央生涯教育センター
憩いの場の提供	ホールの環境整備	地区民	
地区センターだより「城下町」発行	町内及び地区内の情報発信	地区民	

## 2 社会教育の推進

地域における将来像や課題を話し合う機会を設け、地域課題を解決するため学習の場の提供と人材の育成を目指します。

《現状と課題》

地域住民のニーズをもとに、講座や地域課題を解決するための支援を行ってきましたが、一定の年代や参加者の固定化が課題となっています。

また、行政区毎に抱える問題点が異なり、地域の共通認識になりにくい事も考

## 街地区生涯教育センター管理運営計画

えられます。地域課題に対しての話し合いや共有ができていない状況です。

### 《令和6年度重点目標》

自治会を始めとし、街地区の各種団体との話し合いを重ね、課題を共有しながら問題解決に向けての取り組みの支援を行います。

また、少子高齢化の進展に対応した地域の在り方について学ぶ場を提供します。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
明興塾教養講座	学習機会の提供	地区民	
明興塾趣味講座	ものづくりの支援	町民	講師、町民
いきがい明興塾	健康づくり	町民	町民
文化祭	地区民の学習成果の発表の場の提供	町民	センター利用団体

## 3 スポーツの振興

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であり、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる「いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツに親しめるまち金ケ崎町」の実現を目指します。

### 《現状と課題》

地区民がいつでもスポーツに興味を持てるよう、環境整備を図ると共に健康維持のための事業を展開してきましたが、参加者の固定化が課題となっています。

また、スポーツになじみのない方々が参加できるような事業を目指してきましたが、指導者の確保が課題で特定の事業の実施にとどまっています。

### 《令和6年度重点目標》

地区民が心身ともに健康で豊かに生活できるよう、さらには幅広い年齢層の方が参加できる健康講座やウォーキング事業を行い、健康増進と親睦交流を図ります。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
街地区ウォーキング & 親睦交流会	運営支援	地区民	自治会連合会
いきがい明興塾	生涯スポーツ、健康維持支援	町民	町民
自治会対抗グラウンドゴルフ大会支援	大会支援	地区民	自治会連合会

# 三ヶ尻地区生涯教育センター管理運営計画

金ヶ崎町教育振興計画及び第十一次金ヶ崎町総合計画に基づき、三ヶ尻地区生涯教育センターの管理運営計画を次のとおり定める。

## 《センター運営方針》

地区民の学習活動やふれあい交流の場として気軽に相談・利用してもらえるように、各家庭や自治会連合会をはじめとする関係団体と連携を密にし、地区民が生涯を通じて健康で明るく活力ある暮らしをおくることができるよう支援に努める。また地域課題解決のための学習の場の提供や人材育成を推進するために、より良い地域づくりを目指します。

## 視点1：学校・家庭・地域連携による教育の推進

### 《目指す姿》

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
コミュニティ・スクールによる活動（会議含む）	1学校 年2回	1学校 年3回
小中学生対象の地域での体験学習の開催	各学区 1回	各学区 2回

## 1 地域による家庭支援

地域における「目指す子ども像」を示し、家庭、地域、学校、行政の役割を明確にし、対応困難な部分をそれぞれで補完するなど、地域全体で子どもを育む取り組みを推進します。

### 《現状と課題》

子ども・親世代の環境が時代と共に変化し、近所づきあいも減ってきた昨今、地域の大切な子ども・親世代にどの様な支援が必要なのか、把握が困難です。

### 《令和6年度重点目標》

子どもがのびのびと成長していけるように、また親世代が抱えている悩みなどを解決できるよう、地域住民や保護者との意見交換や交流の場を設け、ニーズに合った体験の場の提供や学習する機会を設けます。



## 三ヶ尻地区生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
子ども体験教室	子どもの体験の場・居場所づくりを行う	小学生	子ども会育成会 地区民
学社連携の推進	相互の年間事業計画の確認や調整又は意見交換 コミュニティ・スクールへの参画	幼小中学校の 教諭 子ども会育成会	幼小中学校 子ども会育成会

## 2 ふるさと教育（郷土文化の継承）の推進

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業と触れ合い、体験・体感する機会を充実させることによって、ふるさとの良さを発見し、ふるさと金ヶ崎への誇りや親しみを醸成し、故郷に生きる意欲の向上を目指します。

### 《現状と課題》

地域住民の高齢化や時代の変化などのため、若い世代や子供たちへ優れた文化や技術を伝承する機会が減り、継承する人材の確保が困難です。

### 《令和6年度重点目標》

この地域に残る伝統的な技術と知識を高齢者から次世代へ継承していけるような事業を実施し、若い世代が地元で活躍・恩返しができる機会を作ります。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
凧づくり教室 凧あげ会	良くあがる凧の作り方とそのあげ方を学び、楽しく交流する。	地区民	凧づくり凧あげ指導者 みかじり凧あげの会
みずきだんごまつり	みずきだんごづくりと飾りつけ	地区民	子ども会育成会 食生活改善推進員 シニアクラブ会員
三ヶ尻夏祭り	開催の支援	地区民	三ヶ尻夏祭り実行委員会

## 三ヶ尻地区生涯教育センター管理運営計画

### 視点3：生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

#### 《目指す姿》

町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや文化芸術、読書に親しめる機会の創出を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
三ヶ尻地区生涯教育センターの利用者	15,810人	現状維持
講座等の開催数	16回	現状維持
三ヶ尻地区体育施設の年間利用者数	8,592人	8,600人

#### 1 生涯教育環境の充実

町民が必要な学びのため、主体的に学習活動を行い、その学びから得た成果を生活や地域に活かすことが出来るよう、町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯教育推進体制の整備や、多様な価値観を育むための学習機会の創出と支援に取り組みます。

##### 《現状と課題》

地区民の学習実態やニーズの把握が困難であり、参加する方々が固定化の傾向にあります。

##### 《令和6年度重点目標》

地区民の学習ニーズを把握するために来館者との対話を重ね、気軽に困りごとの相談や利用をしてもらえるよう、情報提供や交流の場の創出に努めます。

##### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
センター運営懇談会	事業に関する地区民との意見交換会	運営懇談会委員	各種団体
学び・ふれあいの場の充実	施設全体の環境整備 施設全体の利用支援	地区民	
センターだより発行	センター事業の内容 各種グループの活動紹介 地区または町の情報提供	地区民	

# 三ヶ尻地区生涯教育センター管理運営計画

## 2 社会教育の推進

地域における将来像や課題を話し合う機会を設け、地域課題を解決するため学習の場の提供と人材の育成を目指します。

《現状と課題》

高齢化、就業形態の多様化及び高齢者の就業率の上昇により参加者が固定化してきており、地域課題や生活課題に対応するための学びに対する興味関心が薄れています。

《令和6年度重点目標》

地域課題や生活課題の解決のための学びの場や相談する機会を増やします。

《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
ふれあい学習塾	地域課題を掘り起こすための事業など 地域課題を解決するための学習会など	地区民	
人生講座	移動研修	地区民	
健康づくり講座 いきがづくり講座	運動教室 栄養教室・料理教室	地区民	保健福祉センターなど
三ヶ尻地区敬老会 (検討)	式典 アトラクションなど	75歳以上の地区民	自治会連合会 各地区福祉部
三ヶ尻地区文化祭	学習グループの活動展 創作品の展示 ふれあいバザー	地区民	自治会連合会
自治会への活動支援	各自治会、自治会連合会の活動補助金申請の援助	各自治会 自治会連合会	

## 3 スポーツの振興

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であり、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる「いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツに親しめるまち金ヶ崎町」の実現を目指します。

《現状と課題》

老若男女問わず参加することのできるニュースポーツ大会を計画し、昨年度実施しました。

## 三ヶ尻地区生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度重点目標》

ニュースポーツ大会を地域の恒例行事として開催していけるよう、地区民への周知や体験会などを開催し多くの地区民参加の促進に努めます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
三ヶ尻地区ニュースポーツ大会	大会共催	地区民	自治会連合会 体協三ヶ尻支部
ニュースポーツ体験会	共催	地区民	自治会連合会 体協三ヶ尻支部
三世代交流GG大会	大会共催	小学生（中学生）・父母・祖父母	GG協会三ヶ尻支部
リレーカーニバル in みかじり	大会運営支援	地区民	体協三ヶ尻支部 子ども会育成会
三ヶ尻地区卓球大会	大会共催	地区民	自治会連合会 体協三ヶ尻支部

# 南方地区生涯教育センター管理運営計画

金ケ崎町教育振興計画及び第十一次金ケ崎町総合計画に基づき、南方地区生涯教育センターの管理運営計画を次のとおり定める。

## 《センター運営方針》

地域住民の学習活動・ふれあい交流の拠点施設として、各年代に必要な学習の機会と場を提供するとともに地域課題を解決するための取り組みを図り、健康で明るく活力ある地域づくりを推進します。

## 視点1：学校・家庭・地域連携による教育の推進

### 《目指す姿》

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
コミュニティ・スクールによる活動（会議含む）	1学校 年2回	1学校 年3回
小中学生対象の地域での体験学習の開催	各学区 1回	各学区 2回

## 1 地域による家庭支援

地域における「目指す子ども像」を示し、家庭、地域、学校、行政の役割を明確にし、対応困難な部分をそれぞれで補完するなど、地域全体で子どもを育む取り組みを推進します。

### 《現状と課題》

親子（家族）一緒に参加できる行事や、子ども達が地域と触れ合う機会が少ないこと。また、異学年を対象とする事業について、実施内容によっては、満足度が低下してしまう学年が出てしまうことも課題となります。

### 《令和6年度重点目標》

児童を対象に、学校や家庭では体験できないような学習の機会を提供する他、異学年を対象とする事業については、体験のテーマは同じであっても、高学年の難易度をあげる等、工夫します。

## 南方地区生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
わくわく少年クラブ	・ものづくり体験会 ・ニュースポーツ体験	児童 保護者(家族)	小学校
学社連携会議	・センター事業に関する 学校関係者との連絡調整	各学校の先生	幼・保・小・中 学校

## 2 ふるさと教育（郷土文化の継承）の推進

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業と触れ合い、体験・体感する機会を充実させることによって、ふるさとの良さを発見し、ふるさと金ヶ崎への誇りや親しみを醸成し、故郷に生きる意欲の向上を目指します。

### 《現状と課題》

小学生も個別の習い事で忙しく、応募者が限られます。  
また移動を伴う場合、対象地域を南方地区に限定すると、子どもたちの興味関心を引きそうな場所の選定が難しいと言う課題があります。

### 《令和6年度重点目標》

二つの小学校経由で募集を行い、地区を限定せず、広く町内を巡り、ふるさとの歴史や産業と触れ合う機会を作ります。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
小学生まちあるき	・町内バスツアー	小学生	小学校
わくわく少年クラブ	・季節行事の体験	小学生	小学校

## 視点3：生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

### 《目指す姿》

町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや文化芸術、読書に親しめる機会の創出を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
南方地区生涯教育センターの利用者	20,277人	現状維持
講座等の開催数	20回	現状維持
南方地区体育施設の年間利用者数	13,361人	13,400人

# 南方地区生涯教育センター管理運営計画

## 1 生涯教育環境の充実

町民が必要な学びのため、主体的に学習活動を行い、その学びから得た成果を生活や地域に活かすことが出来るよう、町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯教育推進体制の整備や、多様な価値観を育むための学習機会の創出と支援に取り組みます。

《現状と課題》

講座の開催が単発に終わり、参加者の自発的な学習に結びついていないこと、参加者が固定化して、センター利用の拡大に繋がっていないことが課題です。

《令和6年度重点目標》

テーマを定めた講座を継続するとともに、利用者、来館者への声掛けにより、地区民の学習ニーズを探り、内容を吟味し、新たな利用者の発掘に努めます。

《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
センター運営懇談会	・運営に関する地域の意見聴取と検討	地区民	自治会連合会
地区センターだより「みなみかた」発行	・町内及び地区内の情報発信	地区民	

## 2 社会教育の推進

地域における将来像や課題を話し合う機会を設け、地域課題を解決するため学習の場の提供と人材の育成を目指します。

《現状と課題》

地域の将来像や現状の課題を話し合う機会が少ないこと、行政区毎に抱える問題が異なり、地域の共通認識になりにくいことが課題と考えられます。

《令和6年度重点目標》

従来の教養講座に加え、地域の共通課題をテーマとした講座の定着を図ります。

《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
教養講座	・ものづくり教室 ・生きがいつくり教室 ・移動研修 ・地域課題に関するテーマの講演会	地区民	
ぼく・わたしの作品展	・児童生徒の作品展	児童生徒	幼・保・小・中学校

## 南方地区生涯教育センター管理運営計画

文化祭	・作品展示会等の支援	地区民	自治会連合会
-----	------------	-----	--------

### 3 スポーツの振興

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であり、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる「いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツに親しめるまち金ケ崎町」の実現を目指します。

#### 《現状と課題》

体力と事前練習を要する従来の競技性種目に代えて、手軽なニュースポーツを新たな種目として採用することへの理解が進んでいます。  
各自治会の事情から、事業開催時に均等な参加人員を確保することが困難です。

#### 《令和6年度重点目標》

事業の開催方法や種目の検討を通じて、幅広い地区民が気軽に参加しやすい事業を企画できるよう支援に努めます。

#### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
スポーツ交流会	・交流会の支援	地区民	自治会連合会
人生大学	・グラウンドゴルフ大会 ・ゲートボール交流会	地区民	老人クラブ連合会
健康増進教室	・ニュースポーツ体験会	地区民	



## 西部地区生涯教育センター管理運営計画

金ケ崎町教育振興計画及び第十一次金ケ崎町総合計画に基づき、西部地区生涯教育センターの管理運営計画を次のとおり定める。

### 《センター運営方針》

学習活動やふれあい交流の拠点としての機能を発揮するとともに、生涯学習活動の充実を目指し、若年層の施設利用拡大・事業参加者の開拓を推進します。

### 視点1：学校・家庭・地域連携による教育の推進

#### 《目指す姿》

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
小中学生対象の地域での体験学習の開催（ふるさと少年塾明元塾）	2回	3回

#### 1 地域による家庭支援

地域における「目指す子ども像」を示し、家庭、地域、学校、行政の役割を明確にし、対応困難な部分をそれぞれで補完するなど、地域全体で子どもを育む取り組みを推進します。

##### 《現状と課題》

コロナ禍の影響によりここ数年の間、行事の中止が相次ぎました。その結果、学校と地域の関わりが希薄になり、連携意識の低下や学校行事に関わる地域住民の高齢化が課題となっています。

##### 《令和6年度重点目標》

地域と学校が連携し、子どもたちの成長を支援できるような機会を創出します。

##### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
家庭教育学級	家庭教育に関すること	西小学校児童 及び保護者	西小学校

#### 2 ふるさと教育（郷土文化の継承）の推進

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業とふれ

## 西部地区生涯教育センター管理運営計画

あい、体験・体感する機会を充実させることによって、ふるさとの良さを発見し、ふるさと金ケ崎への誇りや親しみを醸成し、故郷に生きる意欲の向上を目指します。

### 《現状と課題》

地域住民が高齢化し、子どもたちが地域の文化や歴史を学び、郷土愛を育む機会が失われています。

### 《令和6年度重点目標》

地域の文化や歴史、自然の素晴らしさにふれる機会を作り、食文化の体験などから故郷への愛着を育みます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
明元塾	創作体験活動	小中学生及び 家族	地域住民
ふるさと探検隊	金ケ崎町内を巡る旅		
豆腐づくり	食文化を体験する		
自然体験	自然の中で過ごす体験		

## 視点3：生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

### 《目指す姿》

町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや文化芸術、読書に親しめる機会の創出を推進します。

目標指標	現状値	目標値 (R7)
西部地区生涯教育センターの利用者	9,743 人	10,000 人
講座等の開催数	13 回	現状維持
西部地区体育施設の年間利用者数	4,978 人	5,000 人

## 1 生涯教育環境の充実

町民が必要な学びのため、主体的に学習活動を行い、その学びから得た成果を生活や地域に活かすことが出来るよう、町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯教育推進体制の整備や、多様な価値観を育むための学習機会の創出と支援に取り組みます。

## 西部地区生涯教育センター管理運営計画

### 《現状と課題》

個々のニーズが多様化し、またインターネットの普及などで「個」の活動が主流になり、すべての年代において公民館活動の推進が難しくなっています。

### 《令和6年度重点目標》

次世代に繋がる機会を創出するために青少年事業などにおいて中高生のボランティアを募り育成を目指します。  
広報紙では興味・関心を引くような誌面づくりを心掛け、情報発信を工夫します。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
センター運営懇談会	センターの事業に対する意見・要望を聴取し、より良い運営を目指す。	地区内成人	自治会連合会役員 生涯学習推進員 スポーツ推進委員 食改西部支部長
農産加工室利用促進	豆腐づくり・味噌づくり等の利用を促進する。	地区民	
地区センターだよりの発行	地区内及び町内の情報発信をする。	地区民	

## 2 社会教育の推進

地域における将来像や課題を話し合う機会を設け、地域課題を解決するため学習の場の提供と人材の育成を目指します。

### 《現状と課題》

講座などの参加者が固定化しています。新しい層の開拓のため休日開催を試みましたが、現在顕著な変化は見られません。継続する方向で推進します。  
また地域課題はさまざまありますが、課題に対しての話し合いの場が持てず、共有ができていない状況です。

### 《令和6年度重点目標》

新たな仲間づくり（自主サークル）に繋がるような事業展開をし、サークルづくりの支援を行っていきます。  
地域で抱える課題に対し、解決に向けてヒントになる講座を随時開設します。

## 西部地区生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
成人教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域困りごと勉強会</li> <li>・ウォーキング講座</li> <li>・趣味講座</li> <li>・講演会</li> </ul>	地区内成人	随時
人生大学	健康づくり	地区内高齢者	老人クラブ
活動状況の展示	大型モニター活用 作品企画展随時開催	地区民	地区民
個人及び自主サークルの育成支援	講座からの自主活動支援	地区民	地区民
自治会連合会の育成支援	補助金手続きに関する支援	自治会連合会	
西部まつり	開催に向けての支援	地区民	自治会連合会

### 3 スポーツの振興

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であり、健康でいきいきと暮らすことができる「いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツに親しめるまち金ヶ崎町」の実現を目指します。

#### 《現状と課題》

体育行事は高齢化が進み、自治会対抗戦ができなくなっています。コロナ以降は申し込み制に移行しましたが、以前より人は集まりません。地域に合った事業を推進できるよう支援することが必要です。

#### 《令和6年度重点目標》

気軽に参加してもらえるニュースポーツの種目を多く採用し、行事をきっかけに、親睦交流を深め、何が求められているのか知る機会とします。

#### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
ウェスタンスポーツデー	運動会球技大会に替わる新しいイベントへの支援	地区民	連合会・体育部
スポーツ交流会	各種スポーツ交流会への支援	地区民	連合会・体育部

# 永岡地区生涯教育センター管理運営計画

金ケ崎町教育振興計画及び第十一次金ケ崎町総合計画に基づき、永岡地区生涯教育センターの管理運営計画を次のとおり定める。

## 《センター運営方針》

地域住民の学習活動、ふれあい交流の拠点と位置づけ、学習の機会と情報を提供するとともに、「明るく住みよい地域づくり」を目指し、自治会連合会をはじめ諸団体と連携を密にして、広範な地域である永岡の特性を生かした事業の推進に努めます。

## 視点1：学校・家庭・地域連携による教育の推進

### 《目指す姿》

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

目標指標	現状値	目標値 (R7)
コミュニティ・スクールによる活動 (会議含む)	1学校 年2回	1学校 年3回
小中学生対象の地域での体験学習の開催	各学区 1回	各学区 2回

## 1 地域による家庭支援

地域における「目指す子ども像」を示し、家庭、地域、学校、行政の役割を明確にし、対応困難な部分をそれぞれで補完するなど、地域全体で子どもを育む取り組みを推進します。

### 《現状と課題》

両親の共働き家庭の増加により、地域で子どもを育むことの重要性が増しています。

### 《令和6年度重点目標》

家庭で対応困難な部分を補い地域全体で子どもを育む取り組みを推進し、家庭教育の支援に努めます。

## 永岡地区生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
家庭支援事業	・親子体験会	父母・児童	小学校・中学校
学社連携事業推進会議	・連絡調整 ・事業計画の検討 ・コミュニティスクールへの参画	金ヶ崎中学校 永岡小学校 子ども会育成会	

## 2 ふるさと教育（郷土文化の継承）の推進

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業と触れ合い、体験・体感する機会を充実させることによって、ふるさとの良さを発見し、ふるさと金ヶ崎への誇りや親しみを醸成し、故郷に生きる意欲の向上を目指します。

### 《現状と課題》

地域との関りや郷土への興味が持てる様事業を行っているが、子ども達の生活は家庭と学校が中心で郷土を顧みる機会にあまり恵まれていません。

### 《令和6年度重点目標》

体験学習を通し、郷土や歴史について学びの機会を設け、地域学習を行い情操教育等に努めます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
ふるさと少年塾	・体験教室 ・料理教室	小学生	自治会連合会 食改永岡支部

## 視点3：生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

### 《目指す姿》

地域住民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや文化芸術、読書に親しめる機会の創出を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
永岡地区生涯教育センターの利用者	15,133人	現状維持
講座等の開催数	13回	現状維持
永岡地区体育施設の年間利用者数	6,101人	6,200人

# 永岡地区生涯教育センター管理運営計画

## 1 生涯教育環境の充実

地域住民が必要な学びのため、主体的に学習活動を行い、その学びから得た成果を生活や地域に活かすことが出来るよう、住民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯教育推進体制の整備や、多様な価値観を育むための学習機会の創出と支援に取り組みます。

《現状と課題》

他の地区センターに比べ、センターで活動する自主サークルの数は少ないが、根気よく講座等を開き個人学習、集団学習を支援します。

《令和6年度重点目標》

児童から高齢者まで個人学習、集団学習を進めるため、家庭、学校、関係機関、地域団体と連携を密にして、学習機会の提供、学習活動の支援に努めます。

《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
運営懇談会	・経営方針、事業計画の検討 ・事業の反省・評価	自治会長 生涯学習推進員 スポーツ推進委員	
農産加工室の利用促進	・麴、味噌、豆腐、リンゴジュースづくり	地区民	
地区館だより「ながおか」発行	・地区センター事業、自治会、各種団体活動状況の紹介 ・その他事業のお知らせ	地区民	

## 2 社会教育の推進

地域における将来像や課題を話し合う機会を設け、地域課題を解決するため学習の場の提供と人材の育成を目指します。

《現状と課題》

個々の生活が充実し、地区センターでの学習機会の減少や地区センター利用者の固定化が見られます。また、地域課題に取り組む為の話し合いや共有ができていない状況です。

《令和6年度重点目標》

急激な社会の変化に対応し、地区民一人ひとりが必要とする学びを支援するため、地域課題や学習ニーズの把握に努め学習の機会を提供します。

## 永岡地区生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
地域課題に対する学習支援	・地域との話し合いによる地域課題及び学習ニーズの把握 ・学習機会の提供	地区民	
成人教育	・体験教室 ・健康セミナー ・教養講座	地区民	
趣味講座	・庭木づくり講習会 ・各種講習会	地区民	
人生大学	・移動研修 ・生きがい講演会	地区内の高齢者	老人クラブ連合会
学習資料、活動状況等の展示	・学習資料の紹介と展示 ・活動状況の紹介	地区民	
学習グループ等の育成と活動支援	・会場の提供 ・指導者の紹介 ・活動育成と援助	地区民	
永岡地区福祉講演会	・講演会の支援	地区民	永岡地区社会福祉推進協議会

### 3 スポーツの振興

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であり、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる「いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツに親しめるまち金ケ崎町」の実現を目指します。

#### 《現状と課題》

生活環境の多様化により従来の大会型の事業の開催が難しくなっています。

#### 《令和6年度重点目標》

地区民が健康で豊かな生活を送る為、スポーツを通し健康保持と親睦交流を図ります。

また、健康寿命の延伸を図るため、高齢者に対し軽スポーツの振興及び健康講座等を実施します。



## 永岡地区生涯教育センター管理運営計画

《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
永岡地区ピンポン交流会	・自治会対抗卓球大会の支援	地区民	自治会連合会
軽スポーツの推進	・ふれあい歩こう会	地区民	食改永岡支部
高齢者スポーツ大会	・各種大会の支援	地区民	老人クラブ連合会
スポーツ同好会への活動支援	・施設の提供 ・スポーツ教室への協力 ・関係機関との連絡調整	地区民	

# 北部地区生涯教育センター管理運営計画

金ケ崎町教育振興計画及び第十一次金ケ崎町総合計画に基づき、北部地区生涯教育センターの管理運営計画を次のとおり定める。

## 《センター運営方針》

地域住民の自主的な学習活動やふれあい交流が円滑に行われるよう、学習の機会や情報を提供するとともに、自治会連合会や各種団体、関係機関との連携を図りながら活力ある地域住民主体の地域づくりを推進します。

## 視点1：学校・家庭・地域連携による教育の推進

### 《目指す姿》

学校教育と社会教育、学校と家庭・地域、子どもと地域住民が協働で取り組み、教育の立場から「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進します。

目標指標	現状値	目標値（R7）
コミュニティ・スクールによる活動 （会議含む）	1学校 年2回	1学校 年3回
小中学生対象の地域での体験学習の開催	各学区1回	各学区2回

### 1 地域による家庭支援

地域における「目指す子ども像」を示し、家庭、地域、学校、行政の役割を明確にし、対応困難な部分をそれぞれで補完するなど、地域全体で子どもを育む取り組みを推進します。

#### 《現状と課題》

地域とのかかわりをもたせた事業を開催し、地域全体で子どもを育む環境作りに努めました。

さらに、地域と共に子どもを育む機会について検証し、需要に沿った取り組みを精査していく必要があります。

#### 《令和6年度重点目標》

家庭で対応が困難な体験学習や地域の資源などを活用した事業の機会を提供します。

## 北部地区生涯教育センター管理運営計画

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
各教育機関・団体との連携事業	・事業推進方策の検討 ・コミュニティ・スクールへの参画	幼稚園、小中学校、子ども会育成会	
いろいろクラブ	・創作活動 ・体験学習(調理実習)	地区内小学生	

## 2 ふるさと教育（郷土文化の継承）の推進

子どもたちが地域住民とともに郷土の自然や歴史文化、地域の社会や産業と触れ合い、体験・体感する機会を充実させることによって、ふるさとの良さを発見し、ふるさと金ヶ崎への誇りや親しみを醸成し、故郷に生きる意欲の向上を目指します。

### 《現状と課題》

4年ぶりに子ども会育成会と地域住民の力を借りて、郷土の文化を伝える機会を提供することができました。しかし、子どもの習いごと等の多様化により参加率が低いことが課題として挙げられます。

### 《令和6年度重点目標》

引き続き地域の文化や自然に触れる機会を作り、体験を通して故郷への愛着を育みます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
ふるさと少年塾	・年縄づくり	地区内小学生及び家族	地区民 子ども会育成会
自然観察	・星空観察会	地区内小学生及び家族	
まちあるき学習	・まちあるき学習の支援	中学生	地区民

## 視点3：生涯を通じて学び、学びを活かす人づくりの推進

### 《目指す姿》

町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯学習環境の整備や、気軽にスポーツや文化芸術、読書に親しめる機会の創出を推進します。

## 北部地区生涯教育センター管理運営計画

目標指標	現状値	目標値（R7）
北部地区生涯教育センターの利用者	9,916人	現状維持
講座等の開催数	17回	現状維持
北部地区体育施設の年間利用者数	5,826人	5,900人

### 1 生涯教育環境の充実

町民が必要な学びのため、主体的に学習活動を行い、その学びから得た成果を生活や地域に活かすことが出来るよう、町民の学習ニーズに応じ「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができる生涯教育推進体制の整備や、多様な価値観を育むための学習機会の創出と支援に取り組みます。

#### 《現状と課題》

施設利用促進に繋がるよう来館者への声掛けや地域情報を盛り込んだ親しみの持てる地区館紙の作成に努めました。しかし、新たな層の利用に繋がっていないことが現状です。

#### 《令和6年度重点目標》

新たな層の利用に繋がるよう、住民の学習ニーズを把握し今後のセンター運営に活かしていきます。

#### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
各種団体との意見交換	・センター運営に関する意見交換	地区民	自治会連合会 第一小子ども会育成会 食改北部支部 体育協会北部支部
施設管理事業	・施設の利用促進 ・施設設備の充実、修繕	—	
「ほくぶだより」の発行	・事業の周知、報告 ・活動状況の紹介 ・地域情報の発信	地区民	
農産加工室の利用促進	・豆腐づくり ・味噌づくり	地区民	

### 2 社会教育の推進

地域における将来像や課題を話し合う機会を設け、地域課題を解決するため学習

## 北部地区生涯教育センター管理運営計画

の場の提供と人材の育成を目指します。

### 《現状と課題》

北部地区まちづくりアンケートの結果や地区民のニーズに合わせた学びを提供してきました。それにともない固定化していた参加者にわずかに変化がみられました。地域からは、地域課題についての問題提起の声が上がりそれを解決するための自発的な動きが見え始めています。

### 《令和6年度重点目標》

地域や自治会連合会との話し合いのうえ、課題等を各地域団体と共有し、課題解決に取り組む意識を醸成します。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
学習情報や成果、活動状況等の紹介・展示	・学習情報、成果の掲示 ・活動状況の紹介	地区民	
個人及びグループ学習活動の支援	・学習相談 ・指導者の紹介 ・組織づくりの支援	地区民	
自治会連合会会議	・地域課題について	自治会連合会	地域団体
成人講座	・課題解決講座(相続)	地区民	
講演会	・新春講演会等の支援	地区民	自治会連合会
北部まつり	・まつりの支援	地区民	自治会連合会
防災訓練	・防災避難所訓練の支援	地区民	自治会連合会
いきいき人生塾	・交流会、研修等	地区民	食改北部支部
読書普及推進事業	・柗文庫の活用 ・図書貸し出し ・図書室の開放	地区民	六原幼稚園 第一小学校 北部学童保育所

### 3 スポーツの振興

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であり、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができる「いつでも、どこでも、だれでも気軽にスポーツに親しめるまち金ヶ崎町」の実現を目指します。

## 北部地区生涯教育センター管理運営計画

### 《現状と課題》

自治会連合会と共に事業内容を見直し、今まで行ってきた自治会対抗型のスポーツイベントから、だれもが気軽に参加できる地区内ウォーキングイベントへ転換しました。老若男女が参加できる内容に変えたことで、家族単位や地区外からの参加がありあらたな参加層がみられました。また健康増進と地域を知る機会も創出することができました。

### 《令和6年度重点目標》

ひきつづき自治会と話し合いを重ね、地区民が健康で豊かな生活を送れるよう、時代や地域の実情に合わせた事業を展開できるよう支援していきます。

### 《令和6年度主要事業》

事業名	内容	対象	関係者
健康増進事業	・ウォーキング	地区民	
いきいき人生塾	・グラウンドゴルフ大会	地区民	自治会連合会 GG協会北部支部